

## 苦しみを和らげる認知症ケア研修 A

「ごまかし/かわし/すかし/うそをつき/スルーする」これらはすべて、例えば突然「家に帰る！」と立ち歩く認知症の人の「症状」と格闘する現場職員の**苦しみの**対応なのかもしれない。たとえそれでこの場は収まったとしても、これは再び…延々と続く「症状」が**現場スタッフの苦しみ**（疲弊、無意味・空虚）となる。しかしこれら徘徊、物盗られ妄想、帰宅願望、介護拒否、せん妄、抑うつ等の多くは、認知症の人の“思い出せない苦しみ”の現れなのです。その**認知症の人の苦しみを和らげることが**、対応困難な症状を落ち着かせ、問題行動も収まることになる。これが“**苦しみを和らげる認知症ケア**”です。そこから見えてくるものは、ごまかしのない真の認知症ケアへの道です。もう、ごまかし、うそをつく必要はありません。苦しみのない真の認知症ケアへの道を探求しましょう。この研修は認知症ケアに悩む援助職にとって、援助の基本的概念を学び、明日からの実践に力が得られる3日間です。**苦しみを和らげる認知症ケア**にぜひご参加ください。

**内 容**（本ワークショップは**4時間**×3回＝**12時間**の演習です）

第1日研修－**オンライン研修**

- 1) 主旨説明－本ワークショップの目的、方法の説明
- 2) 対人援助論－認知症の人の苦しみを和らげる援助－
- 3) 援助的コミュニケーション（傾聴）の演習

第2日研修－**オンライン研修**

- 4) “苦しみを和らげる認知症ケア”の理論的解説と傾聴の要点説明
- 5) 雰囲気と関係性の研究（関係の成立・循環性・固有性から解明）
- 6) 質疑応答：各人の会話記録を比較検討する

第3日研修－**オンライン研修**

- 7) “ふれる”で苦しみを和らげる
- 8) 受講者各自の臨床での“苦しみを和らげる認知症ケア”事例検討

**対 象** 臨床で認知症高齢者などのケアに携わる福祉・医療専門職等

**定 員** 8名（最少催行人数4名）

**日 時** 第1日研修：2021年7月10日（土）13:00～17:30

第2日研修：2021年7月31日（土）13:00～17:30

第3日研修：2021年8月21日（土）13:00～17:30

受講には、全3日間の出席が必要です。部分参加はできません。

**場 所** オンライン開催（Zoomを使用します）

\*Zoomの通信環境設定は受講者の責任でお願いします

当日は通信が安定した状態で研修に入りたいと思いますので

早めにZoomをつなぐようにしてください

第1日目は開講30分前から通信可能にしています

**受講料** 28,000円（税込 資料代、会話記録とレポート添削費用を含む）

**講 師** 村田久行（NPO法人対人援助・スピリチュアルケア研究会理事・研修講師）

**申込方法**：受講申込書を下記ホームページよりダウンロードするか、事務局にメールでご請求頂き、必要事項をご記入の上事務局まで送信して下さい。  
申込みは、申込書を提出された方から先着順とさせていただきます。  
受講承認後に、受講費のお振り込みについてご案内します。

**NPO 法人 対人援助・スピリチュアルケア研究会**（HP：<http://www.sp-c.org>）

**事務局** E-mail：[entry@sp-c.org](mailto:entry@sp-c.org)      FAX：099-833-3051

◆お問い合わせは、メール又はファックスにて事務局までお願いします。◆